

長蝶番

平蝶番

裏蝶番

 拔差し  
 蝶番

 段付  
 蝶番

 クリーン  
 ヒンジ

 特装车  
 蝶番

 フリーザー  
 ヒンジ

 特殊  
 蝶番

 トルク  
 ヒンジ

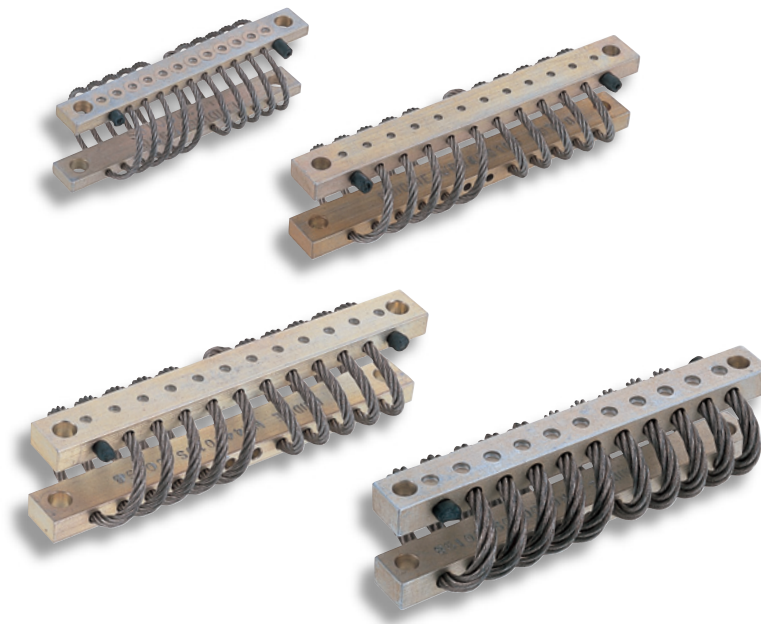
ステー

 周辺機器  
 (B)

PERIPHERAL EQUIPMENT

# ワイヤー防振器

## WIRE ROPE ISOLATOR



B-875

### 特徴 Feature

- 衝撃を吸収することにより、粉塵の巻き上げりを防ぎます。
- ワイヤーの特性を生かした画期的な振動衝撃吸収器
- すべての方向に吸収性能があります。
- ステンレスとアルミで耐食性があります。

- The absorption of impact can prevent dustiness.
- Epoch-making vibration/impact absorber that utilizes the characteristics of wire.
- The product has absorbing capacity in all directions.
- The product is made of stainless steel and aluminum, which provides excellent corrosion resistance.

仕 様 ●材 質 : ワイヤー／ステンレス鋼 (SUS304)  
取付板／アルミニウム合金 (A6061)

●表面仕上 : 取付板／アロジウム処理

用 途 ●振動機器、輸送パレット、コンテナ

納 期 ●特注品・・・納期ご連絡します

備 考 ●使用温度範囲 : -100～+260℃

●詳細仕様、他のサイズ等お問合せ下さい。

Specifi- ●Material: Wire: Stainless steel (SUS304)  
cations Installation plate: Aluminum alloys

●Finish: Installation plate: Alodine treatment

Specific- ●Oscillation devices, transporting  
use pallets, containers

Remarks ●Working temperature range: -100℃ to +260℃.

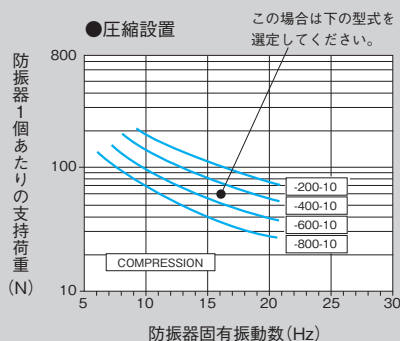
### ■選定方法(振動の場合)

ステップ1: パート1とパート2に必要な数値を記入してください。

ステップ2: 振動特性グラフからワイヤーロープ防振器の固有振動数と支持荷重の交点を結びます。

交点が線上にびたりと合えば、それが最適な型式です。また、線上に交わらない場合は、交点の直接下の型式を、選択してください。

#### (例) 振動特性(荷重vs固定振動数)



### 防振の例題

2階建て工場内の1階に、大型プレス機が設置されており、2階の精密機械がプレスの振動で誤差を生じてしまいます。周波数は20Hzです。精密機械の重量は490N (50kg) です。

パート1:

- 防振器4個で圧縮設置にて防振対策をしたい。
- 防振器1個あたりの荷重を計算。 $490 \div 4 = 123\text{N}$
- 周囲温度は-30℃～55℃まで。

パート2:

- 入力周波数  $f_i = 20\text{Hz}$  より、 $f_n = \frac{20}{2.7} = 7.4\text{Hz}$   
防振器固有振動数を計算します。

※この時の2.7は80%防振をする場合の周波数比です。

- 振動特性グラフから、横軸の防振器の固有振動数と、縦軸から支持荷重の交点を結び、型式を選定します。

B-875-3-4を選定します。

※防振器固有振動数を8～10Hzに仮設定することで、ある程度の対応は可能ですが、入力周波数が著しく大きい場合はご相談下さい。  
商品の選定は衝撃の場合、振動と衝撃の両方の場合お問合せ下さい。

### ■アプリケーション・ワークシート

#### パート1 アプリケーションデータ

1. 全荷重 ( $W_T$ ): \_\_\_\_\_ kg  $\times 9.8 =$  \_\_\_\_\_ N
2. 防振器の使用数 ( $n$ ): \_\_\_\_\_
3. 防振器1個あたりの荷重 ( $W$ ) =  $\frac{W_T}{n} =$  \_\_\_\_\_ N

#### パート2 振動に対する選定(圧縮設置の場合)

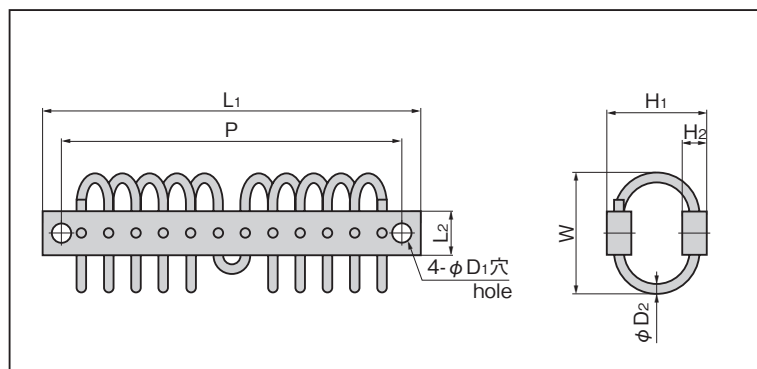
1. 入力周波数(使用周波数) ( $f_i$ ) =  $\frac{\text{RPM}}{60} =$  \_\_\_\_\_ Hz

2. 一般的に防振としては、防振率が80%以上であれば良いとされています。  
80%の防振率を望む場合は、以下の計算を行い、それと同じ防振器の固有振動数をグラフから探して下さい。

$$\text{防振器固有振動数}(f_n) = \frac{f_i}{2.7} = \text{_____ Hz}$$

3. 防振率を80%以下で使用する場合、右ページのグラフ(伝達率カーブ)(防振カーブ)から防振器の固有振動数と、入力周波数で、周波数比を求め、防振率を求めることができます。

$$(\text{周波数比}) = \frac{\text{入力周波数}(f_i)}{\text{防振器固有振動数}(f_n)}$$

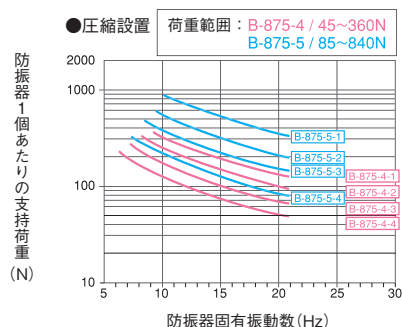
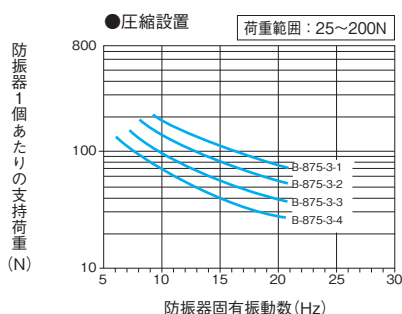
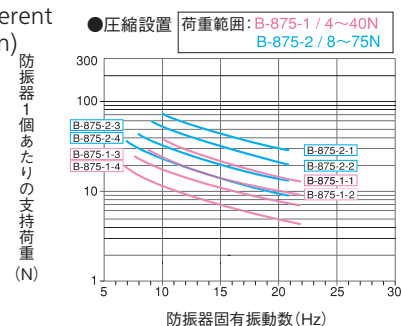


商品番号 Product No.	RoHS	CAD	L1	L2	W	H1	H2	P	φD1	φD2	質量(g) Mass	コード Code	単価 Price	量販価格 数量 Quantity 単価 Price	Bulk Price
B-875-1-1	▲				28	20					30	12860	¥6,000	6個～	¥5,820
B-875-1-2	▲	2D			30	25	4.1	68.3	5.0	1.6	30	12720	¥6,000	6個～	¥5,820
B-875-1-3	▲				33	28					30	12861	¥6,000	6個～	¥5,820
B-875-1-4	▲				38	33					30	12862	¥6,000	6個～	¥5,820
B-875-2-1	▲				30	25					70	12863	¥7,500	6個～	¥7,275
B-875-2-2	▲	2D			33	28	6.4	100.3	5.3	2.4	70	12721	¥7,500	6個～	¥7,275
B-875-2-3	▲				38	33					70	12864	¥7,500	6個～	¥7,275
B-875-2-4	▲				43	38					70	12865	¥7,500	6個～	¥7,275
B-875-3-1	▲				38	30					130	12866	¥8,800	6個～	¥8,536
B-875-3-2	▲	2D			40	33	8.1	114.3	6.5	3.2	130	12722	¥8,800	6個～	¥8,536
B-875-3-3	▲				46	38					130	12867	¥8,800	6個～	¥8,536
B-875-3-4	▲				51	43					130	12868	¥8,800	6個～	¥8,536
B-875-4-1	▲				41	30					150	12869	¥12,000	6個～	¥11,640
B-875-4-2	▲	2D			43	33	8.1	114.3	6.5	4.0	150	12723	¥12,000	6個～	¥11,640
B-875-4-3	▲				48	38					150	12870	¥12,000	6個～	¥11,640
B-875-4-4	▲				53	46					150	12871	¥12,000	6個～	¥11,640
B-875-5-1	▲				38	30					210	12872	¥13,000	6個～	¥12,610
B-875-5-2	▲	2D			41	36	9.5	114.3	6.5	4.8	210	12724	¥13,000	6個～	¥12,610
B-875-5-3	▲				46	41					210	12873	¥13,000	6個～	¥12,610
B-875-5-4	▲				58	51					210	12874	¥13,000	6個～	¥12,610

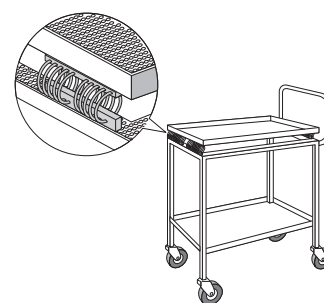
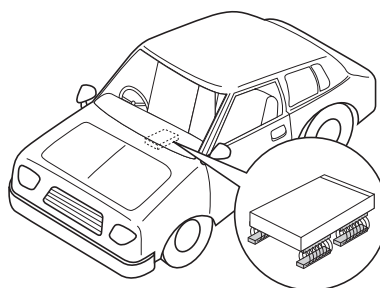
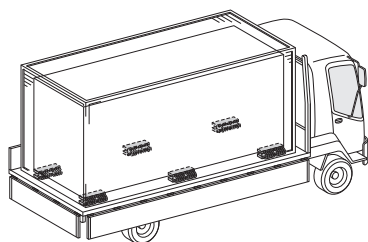
●: RoHS指令対応品 ▲: RoHS指令に対応可能です。

### ■振動特性(荷重vs固有振動数)

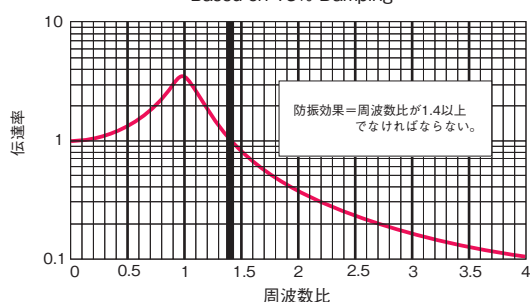
Characteristic  
(load-inherent  
oscillation)



### 使用例 Example of application



伝達率カーブ  
Based on 15% Damping



$$(\text{周波数比}) = \frac{\text{入力周波数}}{\text{防振器固有振動数}}$$

防振カーブ  
Based on 15% Damping

